

ふよう教室だより

鳥取大学附属特別支援学校
2012. 5. 25 (金)

No 6 2



新しいメンバーでスタート！！

平成24年度の『ふよう教室』が始まりました。昨年の2月に4名の仲間がふよう教室を卒業され、寂しい気持ちでしたが、今年、新しいメンバーが4名加わりました。本年度は年長さんから小学4年生までの14名でスタートします。この一年が子どもたちの成長にとって、よりよい時間やきっかけとなりますように、保護者および関係機関の方々とともに子どもたちに関わらせていただきたいと思います。本年度も、小学部の教員を中心として、中学部・高等部・専攻科と全学部の教職員がローテーションで担当していきます。精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いします。保護者の皆さんも、子どもさんと一緒に身体を動かして遊んだり、情報交換をしたりして有意義な時間を過ごしてください。



【にこにこ相談会】

個々の相談にあたります。ご希望の方は、随時、受付で申し込んで下さい。保護者の方々のニーズに応じて、簡単な研修会も考えています。

本年度の予定

5月25日、7月13日、8月3日、10月19日
11月9日、12月14日、1月18日、2月15日

*午後2時40分から始まります。

*欠席される場合は、早めにご連絡ください。

【コラム27】 感覚栄養 (sensory diet)

日本語でのダイエットとは違い、英語の diet とは「バランスのとれた栄養を供給する食事」の意味があります。ここで言う sensory diet は、「**個人のニーズに合わせた、バランスのとれた種々の感覚刺激の組み合わせ**」という意味です。

人は**効果的な感覚栄養**によって、**落ち着き**、**集中力に満ち**、**冷静な判断**ができ、また、物事に対して**適切に反応**できるようになります。ところが、それがうまく取り入れられていない場合、いろいろな情報を自分の中に整理して取り入れることがスムーズにいかず混乱（**ラッシュアワーの交通渋滞を想像してください**）してまい、次のような様子や行動がみられることがあります。

- ・**触覚、動きの感覚、視覚、音の刺激に対する過敏さや鈍感さ**
- ・**落ちつきのなさ（多動・集中力のなさ）**
- ・**自信のなさ**
- ・**運動の不器用さ（手先動作や体操などの運動がうまくできない）**

このようなトラブルを少しでも解消していくために、さまざまな遊びの経験を通して、**お子さんにあった刺激や感覚 (sensory diet)**を知り、親子で取り入れていきましょう。

◆実は、子どもたちのくせや趣味の中に、好きな感覚が隠されていることが多いのです。よく観察してみると意外なことが発見できると思います。

感覚は脳の栄養です。コラムに書いたように「からだづくり」は運動発達だけでなく、脳と心の発達、そしてコミュニケーションの発達にとって欠かすことのできない大切な活動です。『ふよう教室』では、様々な遊び（運動を含めて）の経験を通して発達を促す手助けができればと考えています。疑問点や要望等がありましたら、スタッフまでお伝えください。